

電 来年4月再値上げ

関 原発停止 家庭向け10%超か 収益悪化

関西電力は17日、電気料金再値上げが不可避と判断し、手続きの準備を開始すると発表した。八木誠社長は大阪市内の本店で臨時記者会見し、来年4月に値上げを実施する方針を表明。引き上げ幅などの詳細は「検討中」とするにとどめたが、家庭向けで10%を超える水準で調整しているとみられる。関西の消費者や企業には大きな打撃となる。

関西電力は17日、電気料金の再値上げが不可避と判断し、手続きの準備を開始すると発表した。八木誠社長は大阪市内の本店で臨時記者会見し、来年4月に値上げを実施する方針を表明。引き上げ幅などの詳細は「検討中」とするにとどめたが、家庭向けで10%を超える水準で調整しているとみられる。関西の消費者や企業には大きな打撃となる。



臨時記者会見で電気料金再値上げの方針を表明する関西電力の八木誠社長。17日午前11時、大阪市。

一問一答

関電八木社長

安定供給このままでは支障

関西電力の八木誠社長の記者会見での一問一答は次の通り。

「お客様に負担を強いる再値上げのお願いで、ご迷惑をお掛けすることを深くおわびします。」

「原発が再稼働していない

状況で、燃料費の増加分を吸収するには限界がある。財政基盤の毀損が深刻で、このままでは電力の安定供給に支障を来す恐れがある。断腸の思いで、値上げに向けて準備を始めた。」

「実施時期と対象、値上げ

「来年4月から実施したい。家庭用と企業用を対象に考えている。幅は検討中。」

「値上げの申請時期は、北海道電力の前例では、11月半かかった。それを踏まえ検討する。」

「東京電力は再値上げを回避する見通しで、関電の価格

競争力は低下する。」

「今も東電よりは安い。再値上げ申請後の査定もあるが、今後抵抗していくと思う。」

「原子力規制委員会による高浜原発3、4号機の審査の受け止めは、

「着実に進んでいると理解している。引き続き審査に真摯に対応し、再稼働を進めたい。」

「減の取り組みに注力したい」と語った。

政府がことし1月に認定した総合特別事業計画（再建計画）で目標としていた13、22年度の累計のコスト削減額4兆8215億円から、少なくとも6千億円上積みする。これを踏まえ、東電は14年度中に再建計画を見直す方針だ。

企業や工場などの大口向けも値上げする。

九州電力川内原発に続く再稼働2番手とみられている高浜原発3、4号機や、大飯原発3、4号機が早期に再稼働すれば、その時点で値上げ幅を圧縮したり、料金を下げたりする方針だ。高浜の2基は17日に原子力規制委員会の審査に事実上合格し、八木社長は早期再稼働に期待を示した。

関西電力高浜原発3、4号機が17日、原子力規制委員会の審査に事実上合格した。九州電力川内原発1、2号機（鹿児島県）に続き2例目。12日には、事故を起こした東京電力福島第1原発と同じ沸騰水型の東電柏崎刈羽原発6、7号機（新潟県）の現地調査が行われ、電力業界では規制委

の審査が軌道に乗りつつあるとの受け止めが広がっている。（1面に本記）

大手電力関係者は「再稼働に向けた動きが着実に進んでいく」と話している。

関電は昨年、抜本値上げしたが、もともと原発依存度が高く再稼働の遅れが経営を圧迫。2014年9月中間連結決算では、東日本大震災前の10年3月期に25・0%あった財務の健全性を示す自己資本比率が15・5%まで低下した。

市場では15%を切ると財務が厳しいとみなされ、電力10社では北海道電力の10・9%など4社がこのゾーンにある。

「一節電要請期間」に入ってから初めて。気温が下がり、暖房の使用が増えたためとみられる。

経常益2千70億円
東電再値上げせず
15年3月期見通し
東京電力は17日、2015年3月期連結決算で、通常の事業活動によるもつげを示す

高浜原発 事業者 審査加速に期待

関西電力高浜原発3、4号機が17日、原子力規制委員会の審査に事実上合格した。九州電力川内原発1、2号機（鹿児島県）に続き2例目。12日には、事故を起こした東京電力福島第1原発と同じ沸騰水型の東電柏崎刈羽原発6、7号機（新潟県）の現地調査が行われ、電力業界では規制委の審査が軌道に乗りつつあるとの受け止めが広がっている。（1面に本記）

大手電力関係者は「再稼働に向けた動きが着実に進んでいく」と話している。

関電は昨年、抜本値上げしたが、もともと原発依存度が高く再稼働の遅れが経営を圧迫。2014年9月中間連結決算では、東日本大震災前の10年3月期に25・0%あった財務の健全性を示す自己資本比率が15・5%まで低下した。

市場では15%を切ると財務が厳しいとみなされ、電力10社では北海道電力の10・9%など4社がこのゾーンにある。